

## ■ 経済学の基礎

経済学の基礎 I・II・III・IV ②②②②

### マクロ経済学とミクロ経済学を専門的に学ぶ

経済活動の全体を鳥瞰するマクロ経済学の考え方として、国内経済の基本的な仕組みと働き、政府が行う経済政策、金融の仕組みと働きについて学習します。ミクロ経済学では、市場経済の基本と政府の役割を学びます。



## 三つの履修分野

### ■ 経済と生活

日本の経済 ②

#### 日本経済が直面する課題を理解し考える

日本の経済について、歴史、理論、制度の三つの柱を中心に学びます。日本経済が直面している課題を認識し、それに向けた過去の取組を知り、今後どのような取組が行われるべきかについてアベノミクスを中心に考えます。

北海道の経済 ②

#### 北海道経済が直面する課題を理解し考える

北海道の経済について、歴史、理論、制度の三つの柱を中心に学びます。北海道経済が抱えている課題を認識し、それに向けてどのような取組が行われてきたかを知り、今後の北海道経済のあるべき姿について考えます。

消費と経済 ②

#### 消費の構造を理解し、消費の方向性を考える

消費は、昨今の日本において、ミクロレベルでは「嫌消費」、マクロレベルでは「需要飽和」といった言葉が聞かれるようになり、深刻な有効需要不足が懸念されています。これらの現象を実証データに基づき理解します。

税金と経済 ②

#### 税制の仕組みを理解し、今後の税制を考える

現在の日本の財政は、先進国の中で最も悪化している状況と言えます。この深刻な財政状況は、国民の生活に深く影響を及ぼしています。租税の理論を中心に現行の税制度を理解し、今後の望ましい制度を考察します。

労働と経済 ②

#### 労働環境と雇用、労働法規と就業知識を学ぶ

社会構造の変化と国際競争のなかで、政府・企業の雇い方・働き方は変化しています。女性への期待が高まる一方で、雇用の非正規化も進んでいます。労働環境の変化を理解し、必要な知識を身に付け、働き方を考えます。



福祉と経済 ②

#### 社会福祉の意義と理念、問題や制度を理解する

経済生活と社会福祉は密接に関連しています。社会福祉は、社会生活上の諸問題に対応する専門的な社会サービスの体系を意味します。消費者の立場から社会福祉の身近な事例を取り上げ、仕組みや課題について学びます。

環境と経済 ②

#### 環境問題を学び、生活との関わりを理解する

環境問題は現代の私たちの生活に深く関わっています。なぜ環境問題が発生するのか、その解決に向けてどのような政策がとられてきたのかについて、環境問題の領域ごとに、経済や社会の仕組みとの関係から学びます。



### ■ 金融と国際経済

金融と経済 ②

#### 金融の基本を理解し、応用的な金融問題を学ぶ

金融の基本について、金融の果たす三つの役割に基づき整理して考えます。役割を理解し、全てに関わる金融仲介機関である銀行の機能と脆弱性についても考えます。金融に関する知識を深め、応用的な科目に繋がります。

銀行と金融 ②

#### 経済や生活における銀行の役割と機能を学ぶ

銀行は預金、貸出、為替といった業務やATMなどを通じ、日常生活でなじみ深い役割を果たしていますが、規制緩和やニーズの変化などを背景に経営も大きく変化しています。銀行の役割や機能を具体的事例により学びます。

証券と金融 ②

#### 有価証券の基本とライフプランの設計を学ぶ

証券取引は、金融経済の血液として、企業・家計・政府において非常に重要な役割を果たしています。証券の仕組みと役割を学ぶとともに、株式相場と社会・経済の動きとの関連性、企業の評価等について学びます。

保険と金融 ②

#### 保険の仕組みと役割を理解し、必要性を考える

企業活動や個人の生活には、様々なリスクがつきまといまいます。その備えとして、生命保険や損害保険など「保険」の仕組みができ、社会経済の変化に応じて発展してきました。保険の仕組みと役割を学び、必要性を考えます。

国際経済 ②

#### 日本の貿易の現状と国際経済学の理論を学ぶ

「外国の貿易政策が日本にどのように影響するのか?」「なぜ貿易の自由化が推進されるのか?」など、国際経済に関する様々な疑問について、貿易・貿易政策をテーマとして、日本と他国との経済の関連を学びます。

国際経済事情 ②

#### 国際経済の地域間連携を学び、経済を考察する

最新のデータ・統計・地図を用いて、世界各地の経済を産業・資源・グローバル経済から学ぶとともに、各地域固有の社会状況にも目を向けます。一般論から脱し、多様かつ柔軟な視点で経済を見る姿勢を養います。

国際金融 ②

#### 国際金融の情報から影響と対処法を考察する

国際金融を制度・歴史・理論の三面から多角的に理解し、グローバル化によって世界各地と重層的に結びつく地域経済のなかで活躍するビジネスパーソンの基礎的素養としての国際金融に関する基本的な知識を身につけます。



### ■ 経営と情報

企業と経営 ②

#### 企業の種類と特徴、経営者の役割を理解する

私たちの生活と深い関わりを持ち、社会や経済にも大きな影響力を持つ企業の社会的役割を理解し、その運営の仕組みを学びます。身近な企業の事例を取り上げながら、企業の仕組みと運営の仕組みについて学びます。

簿記 I・II ②②

#### 基本から学び、日商簿記3級合格を目指す

企業経営を行う際に使用する複式簿記の基本的仕組みを理解する簿記入門講座です。商品販売業を前提とした商業簿記の基本について学修します。また簿記I修了者を対象として、決算整理仕訳から財務諸表を学びます。

企業と会計 ②

#### 財務三表を理解し、財務諸表分析の手法を学ぶ

株式会社における損益計算書、貸借対照表、キャッシュ・フロー計算書の基本を理解します。また、実際の決算書を題材に企業の財政状態、経営成績、キャッシュ・フローを読み取り、財務諸表を分析する手法を学びます。

企業と市場 ②

#### コンセプト、プロセス、主要手段を理解する

企業には消費者が望む商品を生産し、手許に送り届ける活動が必要です。これが企業の中核的な活動と位置づけられるマーケティングです。具体的な事例に触れながらマーケティングの仕組みを理解することを目指します。

企業と法律 ②

#### 企業法としての商法と会社法を理解する

自由経済社会において、人は利益を求める営利活動を行います。自由な営利活動といえども、法治国家においては法に適合していなければなりません。営利性・迅速性・定型性の特性を有する商法および会社法を学びます。

コンピュータ実習 III・IV ①①

#### 基本操作から学び、検定試験合格の知識を得る

財務会計及びパソコン基本操作・知識を体系的に学習します。パソコンやネットワークの正しい知識、操作方法及び企業の財務会計の知識と実務能力を習得します。IVでは高度な活用方法の取得と技能の向上を目指します。

### ■ 研究科目

専門ゼミナール ②

#### 深く追究したいテーマを選び、調査・研究に取り組む

学生一人ひとりが興味のある分野のゼミに所属し、それぞれのテーマを探求します。また1年間の専門ゼミを通して、自己表現方法やコミュニケーション能力も磨き、課題研究にも取り組みます。

卒業研究 ①

#### 2年間の学修の集大成として、研究・分析結果をまとめあげる

専門ゼミごとに個人あるいはグループ単位でテーマを設定し、それについて研究・分析し、考えをまとめあげ、論文などの形にします。優れた研究成果に対しては、「優秀卒業研究賞」を授与しています。